

# 1月 ふれあいルーム便り

通所介護・介護予防・日常生活支援総合事業  
医療法人社団芙蓉会 デイサービスふれあいルーム

2026年1月15日 No.364

## 新年のご挨拶

医療法人社団 芙蓉会  
理事長 四ヶ所 大



謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、昨年一年間、当法人の運営に温かなご理解とご協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

昨年は、米の価格高騰に、クマ被害の深刻化。大阪万博の開催は、予想以上に賑わったのが印象的でした。スポーツ界では、長嶋茂雄・読売巨人軍終身名誉監督の訃報に、落胆しましたが、メジャーリーグ・ドジャースの大谷選手の活躍には常に驚かされ、11月のワールドシリーズにおける山本選手の熱投は、恐らく何年も語り継がれる事になるでしょう。このように、長く第一線を支えてきた方たちの世代交代が、時代の流れの中で「支える力」と「つなぐ力」の大切さが改めて示された一年でした。私たちの仕事もまた、日々積み重ねる支援の中に小さな感動があり、それを丁寧に繋いでいく営みだと感じています。

一方、医療・介護の現場では、制度改正や人材不足など、厳しい環境が続いております。特に高齢化が一段と進む中で、ご家族の負担もこれまで以上に大きくなっています。「自宅での生活を続けたい」「できる限り穏やかな毎日を過ごしてほしい」ご家族の思いはそれぞれですが、その根底にあるのは“安心して預けたい”という切実な願いです。私たちはその思いに寄り添い、医療と介護が密に連携しながら、利用者さま一人ひとりに最適なケアを届けられるよう、これからも努めてまいります。

今年は、法人としても改めて「当たり前」のことを誠実に「行う」姿勢を大切にしたい一年にしたいと考えています。利用者さまが今日も笑顔で過ごせること、ご家族が“ここに任せて良かった”と心から思えること、その積み重ねこそが法人の信頼を支える土台です。時代が変わり、制度が変わっても、人に寄り添う姿勢は決して揺らぐことはありません。私たち職員一同は、今年も皆さまの毎日を支える「小さな力」になれるよう、丁寧なケアと温かな関わりを続けてまいります。

本年が、皆さまにとって穏やかで実り多い一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## ボーリング大会

ボーリング大会を開催しました。いつもいろいろなゲームを行っていますが、応援したり、応援されたりすることは高齢者にとって、社会とのつながりを深めたり、孤独感を軽減したりすることにもつながっています。人との交流が、刺激や喜び、生きがいとなり、ポジティブな気持ちにしてくれます。



## 音楽療法 ミニ発表会

12月から金曜日に開催している音楽療法。

先生のピアノに合わせて歌を歌ったり、楽器を持って一緒に演奏したりしています。今月はミニ発表会を開催いたしました。グループホームの方々や、ふよう病院の従業員など、たくさんの方々が見学に来てくれました。練習してきたハンドベルや歌を披露して、たくさんの拍手をいただき充実した発表会でした。



## クリスマス会



クリスマス会は、ケーキに生クリームとチョコレートを自分たちでトッピングして準備をしました。美味しいケーキを頂いた後は、ビンゴ大会です。自分のカードの番号が呼ばれると「ドキドキするね」「リーチがいっぱい」と会話も弾みます。季節のイベントを仲間と過ごす事で、人とのつながりを実感できる時間となりました。



## ゆずづくし

今月の季節のお風呂は、ゆず風呂を楽しみました。

ゆず風呂は、リラックス効果が期待できます。柚子のスッキリとした香りが心を落ち着かせ、日々の疲れを癒してくれました。料理教室では、ゆずジャムを作り、パンケーキを焼いてジャムと一緒にいただきました。残ったジャムでゆずゼリーも作り、ゆずづくしを楽しみました。

